

(第66期)

日東化成工業株式会社

貸借対照表

(平成31年3月31日現在)

(単位 千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部	2,296,692	負 債 の 部	1,314,823
流 動 資 産	1,433,308	流 動 負 債	847,637
現金及び預金	483,660	支払手形	64,224
受取手形	167,493	買掛金	533,822
売掛金	470,986	短期借入金	40,100
棚卸資産	305,988	未払法人税等	25,127
その他流動資産	5,179	その他流動負債	152,054
固 定 資 産	863,383	賞与引当金	32,309
(有形固定資産)	776,259	固 定 負 債	467,185
建物及び付属設備	298,379	長期借入金	279,110
構築物	36,505	退職給付引当金	127,460
機械装置	160,351	役員退職慰労引当金	60,615
什器・車両	21,078	純 資 産 の 部	981,868
土地	259,944	株 主 資 本	982,684
(無形固定資産)	616	資本金	145,600
電話加入権	616	資本剰余金	54,600
(投資その他の資産)	86,507	資本準備金	54,600
投資有価証券	4,176	利益剰余金	782,484
繰延税金資産	58,301	利益準備金	26,000
その他の資産	24,029	その他利益剰余金	756,484
		繰越利益剰余金	756,484
		評価・換算差額等	△ 815
		その他有価証券評価差額金	△ 815
合 計	2,296,692	合 計	2,296,692

〔重要な会計方針に係る事項に関する注記〕

1. 有価証券の評価方法

時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっております。

時価のないもの…移動平均法による原価によっております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

製品・仕掛品…売価還元法による原価法によっております。

原材料…移動平均法による原価法によっております。

商品…最終仕入原価法による原価法によっております。

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産…(1)平成19年3月31日までに取得したもの…法人税法に規定する旧定額法によっております。

(2)平成19年4月1日以降に取得したもの…法人税法に規定する定額法によっております。

無形固定資産…定額法によっております。

4. 引当金の計上基準

(1)貸倒引当金…売上債権、貸付金等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2)賞与引当金…従業員賞与の支払に備えるため、支給見込額基準により計上しております。

(3)退職給付引当金…従業員の退職給与の支給に備えるため、自己都合による期末要支給額を計上しております。

(4)役員退職慰労引当金…役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

5. リース取引の処理方法

リース期間を耐用年数とし残存価額を零とする定額法。ただし、所有権移転外リースのうち、リース取引開始日が平成20年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

6. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理の方法は税抜処理によっております。

〔当期純利益の額〕

当期純利益 123,059千円